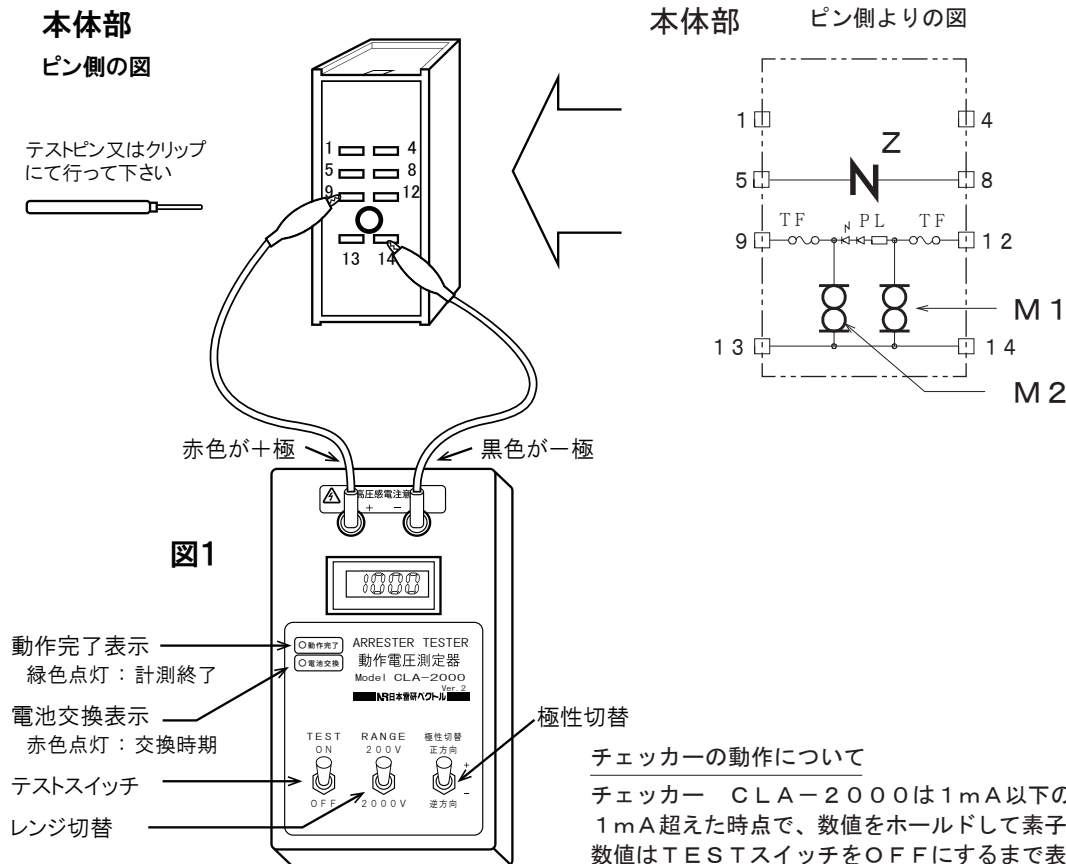


避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧（素子に1mAを流したときの電圧）を測定して判断します。

## ●端子配列と結線図



## ●素子の良否判定方法

- ① チェッカーCLA-2000を図1のように接続します。
- ② 測定する素子（MやZ）の動作電圧に合わせてRANGE（レンジ）を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化と判定します。

<NR-12D避雷器>

各素子及びヒューズ	測定端子	端子番号 ⊕ ⊖	印加電圧 (レンジ)	確認内容
線間素子正方向	L+/L-間	8-5	DC200V	DC20~24V 範囲内であること
ヒューズ確認	D+/D-間	12-9	DC200V	ヒューズが正常であればランプが点灯します。
M1	E/D+間	14-12	DC2000V	DC350~850V 範囲内であること ※1
M2	D-/E間	9-14	DC2000V	DC350~850V 範囲内であること ※1

※1 出荷時試験電圧範囲以外でも±10%程度は良好で、自復作用で復帰することもあり使用可能です。ただし、300V以下の場合は交換をお奨めします。

## ●注意事項

- ① 感電にご注意ください。  
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② 新品交換待ちの場合  
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。